

# セミナー実施報告

## 「木材利用の地球環境貢献」及び 「木材の国際取引-実態と課題」

日本木材輸出振興協議会と NPO 法人活木活木（いきいき）森ネットワークとの共催によるセミナーが、平成 22 年 06 月 30 日（15:00～17:00）に文京区の東京クリーニング学校ホールで約 90 名の参加を得て開催されました。



### 木材利用の地球環境貢献 井上 雅文 氏

最初の講師の井上雅文氏は、東京大学アジア生物資源環境研究センター准教授で、木材利用の地球温暖化防止機能の観点から、木材のマテリアル利用から代替エネルギー利用までのカスケード化の推進等を研究されておられます。また、農林水産省では森林・林業再生プラン実現のため「森林・林業の再生に向けた改革の姿」が検討されておりますが、その一環である「国産材の加工・流通・利用検討委員会」の座長として、自給率 50%達成のための加工・流通・利用のあり方を検討されておられます。

当日は、「木材利用の地球環境貢献」というテーマで御講演いただきました。

講演の内容は、「本当に木を使ってもいいんですか?」（樹を伐採することは環境破壊?）と



いう疑問に答える形で、木材が生態系にやさしく環境保全に適したエコマテリアルであること等を

①割りばし問題、割りばし一膳からできるティッシュの枚数、だまし絵から固定観念を捨て柔軟な視点を持つことの重要性及び難しさ

②地球上の炭素循環、気体の炭素をブドウ糖として固定する植物の光合成

③森林伐採の理由、持続可能な森林資源

④リニューアブル（再生可能）、カーボンニュートラル（炭素中立）、サステナブル（持続可能性）という観点からの木材利用の地球環境貢献

⑤省エネ資材としての木材

⑥自給率 50%を目指す森林・林業再生プラン

等身近な事例と軽妙な語り口で一般の方々にも解りやすい御説明をいただきました。

---

## 木材の国際取引-実態と課題

### 熊谷 正二 氏

二番目の講師の熊谷正二氏は、木材をはじめ幅広い建築資材を世界各国と取引をされておられる双日建材株式会社の木材本部副本部長として国内外のネットワークを通じて木材製品の加工・流通から輸出入における第一線で御活躍されておられる方です。

当日は、「木材の海外取引：その実態と課題：」というテーマで御講演いただきました。

講演の内容は、冒頭、世界の木材生産・輸出・輸入及び中国の木材貿易相手国等についての概説が示された後

①海外取引の実態：よくあるトラブルとその対処法について



- ・ 買い手（信用調査機関の利用、商社の利用等）
- ・ 商品（規格・等級の確認、寸検方法の事前合意、荷姿の合意等）
- ・ 代金(LC 受け取り後の製造開始、輸出保険、DP/DA にする等)
- ・ 輸送（船・倉庫・荷役会社の信用度、輸送条件の確認、費用負担・リスク範囲の確認、付保等）
- ・ 制度許認可（制度変更、関税、検疫、輸出入許可、合法性等の確認）

②各国の森林面積、伐採量、木材消費量、消費予測、丸太・製材等の貿易量等の統計資料

③国産材輸出の課題として

- ・ 原木・製材品などについて原木伐採、輸送コストを抑える
- ・ 塗装、不燃、防腐、防蟻、強度及び軽量等に着眼した高付加価値商品の開発、継続投入等について具体的に御説明いただきました。

時間の制約はありましたが盛会の内にセミナーを終了することができました。

当日は、マスコミ及び商社等関係業界など多くの方々に御参加いただきました。

講演者、参加者をはじめ、関係者の方々に感謝申し上げます。